令和８年度　第２回新見市総合教育会議　次第

日時：令和８年１０月２２日（木）
１６：００～１７：００
場所：市役所南庁舎３階　大会議室

１　開会

２　市長挨拶

３　議事
（１）「新見市立小中学校における適正規模・適正配置の考え方」について

４　その他

５　閉会

資料１

令和８年度　第２回新見市総合教育会議　出席者名簿

○総合教育会議　構成者

職　　名	氏　　名
市　　長	石　田　　實
教 育 長	後　藤　秀　則
教育長職務代理者	松　井　健　一
教育委員	溝　尾　妙　子
教育委員	長谷川　　綾
教育委員	三　上　ゆ　み（欠席）

◇総合教育会議　事務局

職　　名	氏　　名
総務部次長兼政策推進課長	吉　川　国　夫
政策推進課企画政策係長	大　森　惠　介
政策推進課主任	藤　田　善　晃

◇教育委員会　事務局

職　　名	氏　　名
教育部長	岩　井　等　司
教育部次長兼生涯学習課長	三　村　真　司
教育総務課長	忠　田　　真
学校教育課長	高　木　亮　彦
教育連携推進課長	掛　屋　正　美
教育総務課長補佐	浅　井　裕　子

資料２

新見市立小中学校における
適正規模・適正配置の考え方

令 和 ８ 年 ４ 月

新見市教育委員会

１　策定にあたって

（１）経緯及び目的

これまで新見市教育委員会では、「地域とともにある学校づくり」を進め、複式学級の指導に工夫を凝らす等、小規模校の運営に尽力してきました。

しかし、全国的に少子化が進む中、本市においても、近年、急速に児童生徒数が減少しており、小中学校の小規模化が進んでいます。こうした状況において、最適な教育環境を確保するために必要な学校の規模・配置について見直す必要が生じてきました。

本委員会では、文部科学省が平成27年１月に策定した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を参考にしながら、本市における小中学校の望ましい教育環境の実現を図るための基本的な考え方や方策、既存校舎等の老朽化の状況を踏まえた学校教育施設の在り方や再編する学校の位置・規模等について整理・検討を行い、「新見市立小中学校における適正規模・適正配置の考え方」としてまとめることとしました。

（２）社会的背景

・晩婚化・非婚化などのライフスタイルの変化
・人口減少と少子高齢化（年少人口の減少）
・市外への人口流出・市内中心部への人口集中による周縁部地域の過疎化の進展

（３）小中学校の現状と今後の推移

◎児童生徒数及び学級数の現状と今後の推移

令和８年４月１日現在

小学校

地域	学校		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
新見	思誠	児童数	284	260	231	212	188	171	159
		学級数	11	11	11	10	9	8	7
	高尾	児童数	37	41	37	36	37	34	31
		学級数	4	4	4	4	4	4	3
	新見南	児童数	135	131	125	119	109	95	97
		学級数	6	6	6	6	6	6	6
	草間台	児童数	28	26	23	20	16	12	10
		学級数	4	3	3	3	3	3	3
	塩城	児童数	22	17	19	19	21	16	19
		学級数	3	3	3	3	3	3	3
	上市	児童数	65	64	62	66	60	58	59
		学級数	6	6	6	6	6	6	6
	西方	児童数	55	53	48	46	47	39	37
		学級数	6	6	6	6	6	6	6
大佐	刑部	児童数	74	68	64	57	57	55	46
		学級数	6	6	6	6	6	6	6
神郷	神代	児童数	30	27	27	25	27	25	22
		学級数	4	4	3	3	4	3	3
哲多	本郷	児童数	71	77	73	62	50	52	47
		学級数	6	6	6	6	6	6	6
	新砥	児童数	14	令和９年４月に本郷小と統合					
		学級数	2						
哲西	矢神	児童数	24	25	25	22	24	24	21
		学級数	3	3	3	3	4	4	3
	野馳	児童数	33	30	30	26	28	25	24
		学級数	4	4	4	3	3	3	3
新見市全体		児童数	872	819	764	710	664	606	572
		学級数	65	62	61	59	60	58	55

※　　…３学級の編制で児童数が１４人以下

※　　…複式を含む学級数

中学校

地域	学校		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
新見	新見第一	生徒数	298	288	285	268	247	233	225
		学級数	9	9	9	9	8	8	7
	新見南	生徒数	83	79	83	88	86	89	75
		学級数	3	3	3	3	3	3	3
大佐	大佐	生徒数	48	48	46	39	34	32	35
		学級数	3	3	3	3	3	3	3
哲多	哲多	生徒数	66	59	51	51	51	46	34
		学級数	3	3	3	3	3	3	3
哲西	哲西	生徒数	39	38	31	33	28	29	24
		学級数	3	3	3	3	3	3	3
新見市全体		生徒数	534	512	496	479	446	429	393
		学級数	21	21	21	21	20	20	19

◎学校施設の現状

・築20年以上の建物施設（大規模改修事業の対象）が90％を占めるが、計画していた改修事業は全て終了している。

・令和７年度末時点で築40年以上の建物施設が45％

２　基本的な考え方

（１）適正規模の確保と適正な学校配置の考え方

本市では、「**児童生徒が多様な考え方に触れ、切磋琢磨することで社会の形成者としての基本的資質を伸ばすことのできる学校**」づくりを目指します。

そのため、岡山県教育委員会が以下に示す県費負担教職員の配置基準を踏まえつつ、安全・安心な学校経営が持続できるよう、適正な学校規模の確保に努めます。

また、広い市域を有する本市の地理的特性や既存校舎の老朽化の状況等を総合的に勘案し、保護者や地域の理解と協力を得ながら、既存施設の有効活用を原則とした適正な学校配置を検討します。

県費負担教職員の配置基準の概要

	４学級以上	３学級	２学級以下	備　考
校長	○	○	○	
教頭	○	○ ※1	×	※1　児童数１４人以下で教頭が担任を兼ねる
養護教諭	○	○	×	
事務職員	○	△	×	

○…配置あり
△…条件付きで配置あり
×…配置なし

①　適正規模の基本的な考え方

１）学校規模の適正化の検討は、様々な要素が絡む困難な課題ですが、飽くまでも児童生徒の教育条件の改善の観点を中心に据え、学校教育の目的や目標をより良く実現するために行うべきものです。安全・安心を最優先に掲げた持続可能な学校経営と、地域人材や資源を活用した特色ある教育目標を実現するため、本市においては、「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（平成27年_文部科学省）」に示されている学校規模のうち、以下の三つの学校規模を適正規模と判断します。

	過小規模校 （複式学級がある学校）	小規模校 （単式学級のみで構成される学校）	中規模校 （全学年が複数学級の学校）
小学校	3～5学級	6～11学級	12学級
中学校	―	3～5学級	6～9学級

2）学校規模による教育活動の特徴

◎過小規模校・小規模校及び中規模校における学習面、生活面、教育指導面などの様々な特徴

	メリット	デメリット
過小規模校（複式学級）	・異学年の人とかかわる経験ができる。 ・上級生の学習内容を知ることができる。 ・学級の中で上学年や下学年を経験することにより、上学年の児童はリーダーとしての自覚を持つようになる。	・異なる学年が同じ教室で 授業を受けるため、一方の学年が先生から直接指導を受けている間、もう一方の学年は課題学習等をする時間が生まれる。 ・教員は、指導計画の作成や指導方法の研究と経験が必要となる。 ・転入出した児童がいる場合、未学習の領域ができる可能性がある。
小規模校・過小規模校（共通）	・少人数であるため、教師が一人一人の児童生徒に目が行き届きやすく、個別指導やきめ細やかな指導・支援ができる。 ・児童生徒同士の関わりが深まりやすく、強い仲間意識が育まれやすい。 ・少人数ならではの温かい雰囲気で、児童生徒は安心して学校生活を送ることができる。 ・職員数が少ないため、職員間の連携が図りやすく、学校全体で教育活動を進めやすい。 ・保護者や地域社会との連携が図りやすく、学校と地域が一体となった教育活動が展開しやすい。	・クラス替えができないため、人間関係が固定化される。 ・意見を言い合える人数が限られるため、多様な考え方に触れる機会が少なくなる。 ・同学年で競い合う機会が少なくなり、切磋琢磨する経験が不足する。 ・各種活動の種類が制約され、児童生徒の選択肢が狭まる。 ・職員数が少ないため、校務分掌等、一人一人の負担が大きくなる。 ・職員の専門性や経験に偏りが出やすく、教育活動に制約が生じる。 ・ＰＴＡ活動等、保護者一人当たりの負担が増加する。
中規模校	・クラス替えができ、多くの児童生徒と関わり合うことで、様々な価値観に触れる機会が増える。 ・集団の中で、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人一人の資質や能力をさらに伸ばしやすい。 ・運動会や発表会などの学校行事に多くの児童生徒が取り組むことで、学校全体に活気が出やすくなる。 ・児童生徒数、職員数の一定数の確保が可能であることから、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教員による指導など、多様な学習･指導形態をとりやすい。 ・充実したＰＴＡ活動が展開しやすくなる。 ・保護者や地域の負担軽減が図られる。	・児童生徒一人一人の把握ができにくくなり、個性や状況に合わせた指導が難しくなる。 ・多くの児童生徒がいる中で、自分の意見や個性を発揮しづらくなる。 ・学年内･異学年間の交流が少なくなり、人間関係が希薄になる。 ・職員数が多いため、職員相互の連絡調整が取りづらい。 ・世帯数が多いため、保護者との連絡調整に時間を要する。

②　適正配置の基本的な考え方

広い市域を有する本市では、それぞれの学区も広範囲に及びます。児童生徒の心理的・体力的負担を軽減する観点から、学校配置については、通学に要する時間がスクールバス利用の場合でも概ね１時間以内（バスの待ち時間も含む）となるよう考慮するとともに、これまでの地域と学校とのつながりについても配慮します。

（２）小中一貫教育の考え方

本市では、令和９年春の開校を目指し、大佐中学校区の刑部小学校と大佐中学校を対象に、新たに施設一体型の小中一貫校の整備を進めているところです。両校が目指す子ども像や教育目標を共有し、９年間を通じた特色ある教育課程を編成・実践することで、将来の新見市を担う人材の育成を進めたいと考えています。

また、両校においては、専門教科の知識を有する中学校教諭が小学生に授業を行うなど、校種の枠を越えた取組を計画しています。魅力ある学校づくりを進めていく観点から、義務教育段階の系統的な指導の教育効果を検証し、小中一貫校や義務教育学校も今後の学校再編の選択肢の一つと考えます。

（３）学校再編による効果

学校再編によって、児童生徒の育成の観点からは、学校行事などの多様な集団活動の機会が増え、協調性やリーダーシップを育むとともに、より多くの友達と切磋琢磨することで児童生徒一人一人の力を伸ばしたり、人間関係の固定化や序列化を防いだりする効果が期待されます。

また、学校運営の観点からは、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教員による指導など、多様な学習･指導形態をとりやすくなるとともに、教職員数が確保されることで、円滑な校務の遂行が可能となります。

さらに、学校支援の観点からは、世帯数が増えることで保護者や地域からの支援体制が強化され、学校のニーズに応じた多様なサポートが可能となります。

本市の小中学校は、地域に根ざした学校運営を目標の一つとしていることから、地域の実情や地域と学校とのつながり等についても考慮しつつ、学校の適正規模・適正配置を検討していく必要もあります。

（４）再編の対象とする学校

①複式学級のある小学校のうち、３学級の編制で児童数が１４人以下になり、その後の児童数の回復が見込まれない小学校（教頭が担任を兼ねる状態となる小学校）

②３つの学年のうち２つの学年で生徒数が１０人を下回ることが見込まれる中学校

以下の点が懸念される。

・学校行事等、集団活動の機会の減少
・社会性や競争意識の低下
・人間関係の固定化や序列化

③地域から再編要望があった小中学校

（５）学校再編に伴う諸問題への対応

・学区が広がることによって、地域と児童生徒とのつながりが希薄化することが懸念されるが、児童生徒の地域文化への愛着と誇りをもてるような教育課程の編成を工夫します。
・統合による児童生徒の不安を解消するため、交流活動の充実と教職員の異動上の配慮に努めます。
・通学距離が延びることによる児童生徒の負担を軽減するため、スクールバスの運行経路や時刻の調整を行います。
・スクールバスの運転手不足が見込まれるため、公共交通の活用も視野に入れつつ、効率的かつ安定的な輸送手段の確保に努めます。

３　地域別の状況

令和８年４月１日現在

小学校

区分		児童数の推移（人）			学級編制		建築年	築年数	大規模改修
地域	学校	R8	R14	増減率（%）	R8	R14			
新見	思誠	284	159	-44.0	単・２学級	単・２学級	H24	14	R4（トイレ）
	高尾	37	31	-16.2	複	複	H1	37	H29（空調）R3（トイレ）
	新見南	135	97	-28.1	単	単	S58	43	H29（空調）R5（トイレ）
	草間台	28	10	-64.2	複	複	S49	52	H26（耐震）H30（空調）R7（LED）
	塩城	22	19	-13.6	複	複	H3	35	H29（空調）R4（トイレ）
	上市	65	59	-9.2	単	単	S60	40	H29（空調）R3（トイレ）R7（空調）
	西方	55	37	-32.7	単	単	S57	44	R4（大規模）
大佐	刑部	74	46	-37.8	単	単	S62	39	H30（空調）
神郷	神代	30	22	-26.6	複	複	S49	52	R5（大規模）
哲多	本郷	71	47	-33.8	単	単	H7	31	H29（空調）R5（トイレ）R7（空調・LED）
	新砥	14	―	―	複	―	S58	43	H30（空調）R4（トイレ）
哲西	矢神	24	21	-12.5	複	複	S55	46	H30（空調）R4（トイレ）
	野馳	33	24	-27.2	複	複	H8	30	H30（空調）R6（トイレ）R7（LED）
合　計		872	572	-34.4	複7校	複6校			

※新砥小学校は、令和９年３月閉校予定

中学校

区分		生徒数の推移（人）					10人未満の学年		建築年	築年数	大規模改修
地域	学校	R8	R14	増減率（%）	R20	増減率（%）	出現年度	複数学年出現年度			
新見	新見第一	298	225	-24.4	148	-50.3	-	-	H16	22	
	新見南	83	75	-9.6	43	-48.1	-	-	H22	16	H29（空調） R6（空調・トイレ）R7（LED）
大佐	大佐	48	35	-27.0	24	-50.0	R13	R17	S50	51	H29（空調）
哲多	哲多	66	34	-48.4	19	-71.2	R13	R14	S57	44	H30（空調）R3（トイレ） R6（空調）
哲西	哲西	39	24	-38.4	21	-46.1	R10	R12	H4	34	H30（空調）R6（空調） R7（LED）
合　計		534	393	-26.4	255	-52.2					

【新見地域】

令和８年度は、小学校７校中、３校が複式学級となっています。

草間台・塩城小学校では、児童数の減少により、学校の在り方の検討が始まっています。

【大佐地域】

令和９年度に、刑部小学校・大佐中学校が、施設一体型の小中一貫校として開校予定です。

【神郷地域】

令和８年度は、神代小学校が複式学級となっています。

【哲多地域】

令和８年度は、小学校２校中、新砥小学校１校が複式学級となっています。令和８年度末に新砥小学校は閉校となり、令和９年度に本郷小学校に統合されます。

また、哲多中学校については、令和１３年度に生徒数が１０人を下回る学年が出現し、令和１４年度には２つの学年で生徒数が１０人を下回るため、検討の必要性が生じてきます。

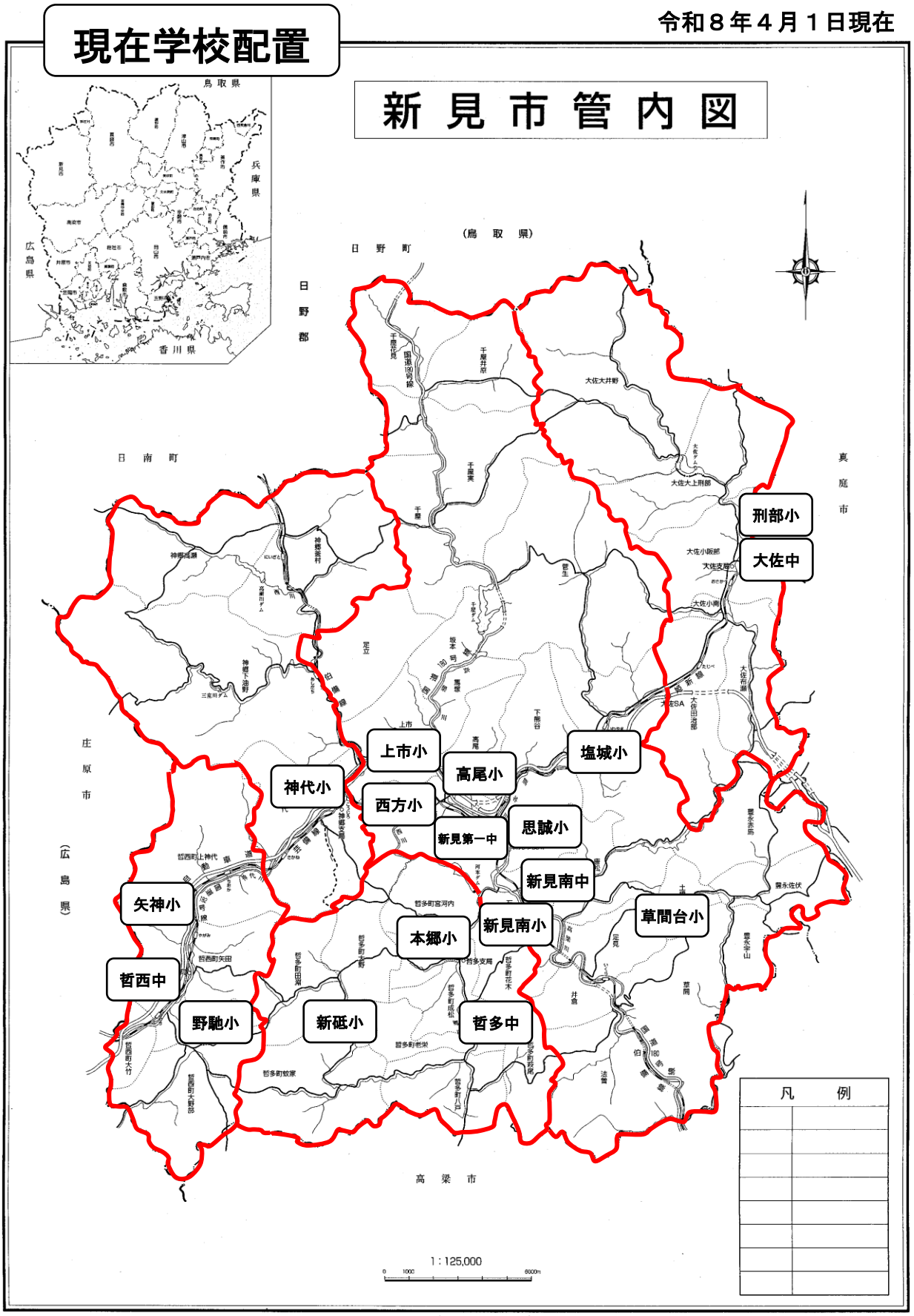
【哲西地域】

令和８年度は、矢神・野馳小学校が複式学級となっています。

哲西中学校においては、令和１０年度に生徒数が１０人を下回る学年が出現し、令和１２年度には２つの学年で生徒数が１０人を下回る状況になります。

矢神・野馳小学校、哲西中学校については、令和８年７月に地域から３校を統合し、新たに義務教育学校の開設を求める要望書が提出されており、今後、再編協議を進めることとしています。

4　学校配置図



平成17年３月作成

調製　岡山市津高651　西尾総合印刷株式会社

5　＜資料１＞小中学校児童生徒数・学級数　　令和８年４月１日現在

●思誠小

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
R8	児童数	38	43	42	44	67	50	284
	通常学級数	1	2	2	2	2	2	11
R9	児童数	26	38	43	42	44	67	260
	通常学級数	1	2	2	2	2	2	11
R10	児童数	38	26	38	43	42	44	231
	通常学級数	2	1	2	2	2	2	11
R11	児童数	25	38	26	38	43	42	212
	通常学級数	1	2	1	2	2	2	10
R12	児童数	18	25	38	26	38	43	188
	通常学級数	1	1	2	1	2	2	9
R13	児童数	26	18	25	38	26	38	171
	通常学級数	1	1	1	2	1	2	8
R14	児童数	26	26	18	25	38	26	159
	通常学級数	1	1	1	1	2	1	7

●高尾小

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
R8	児童数	6	6	5	7	9	4	37
	通常学級数	1	1	1		1		4
R9	児童数	8	6	6	5	7	9	41
	通常学級数	1	1	1		1		4
R10	児童数	5	8	6	6	5	7	37
	通常学級数	1	1	1		1		4
R11	児童数	6	5	8	6	6	5	36
	通常学級数	1	1	1		1		4
R12	児童数	6	6	5	8	6	6	37
	通常学級数	1	1	1		1		4
R13	児童数	3	6	6	5	8	6	34
	通常学級数	1	1	1		1		4
R14	児童数	3	3	6	6	5	8	31
	通常学級数	1		1		1		3

●新見南小

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
R8	児童数	13	27	21	26	25	23	135
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R9	児童数	19	13	27	21	26	25	131
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R10	児童数	19	19	13	27	21	26	125
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R11	児童数	20	19	19	13	27	21	119
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R12	児童数	11	20	19	19	13	27	109
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R13	児童数	13	11	20	19	19	13	95
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R14	児童数	15	13	11	20	19	19	97
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6

●草間台小

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
R8	児童数	3	6	5	4	5	5	28
	通常学級数	1	1	1		1		4
R9	児童数	3	3	6	5	4	5	26
	通常学級数	1		1		1		3
R10	児童数	2	3	3	6	5	4	23
	通常学級数	1		1		1		3
R11	児童数	1	2	3	3	6	5	20
	通常学級数	1		1		1		3
R12	児童数	1	1	2	3	3	6	16
	通常学級数	1		1		1		3
R13	児童数	2	1	1	2	3	3	12
	通常学級数	1		1		1		3
R14	児童数	1	2	1	1	2	3	10
	通常学級数	1		1		1		3

●塩城小

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
R8	児童数	0	8	2	2	3	7	22
	通常学級数		1	1		1		3
R9	児童数	2	0	8	2	2	3	17
	通常学級数	1		1		1		3
R10	児童数	5	2	0	8	2	2	19
	通常学級数	1			1	1		3
R11	児童数	2	5	2	0	8	2	19
	通常学級数	1		1		1		3
R12	児童数	4	2	5	2	0	8	21
	通常学級数	1		1			1	3
R13	児童数	3	4	2	5	2	0	16
	通常学級数	1		1		1		3
R14	児童数	3	3	4	2	5	2	19
	通常学級数	1		1		1		3

●上市小

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
R8	児童数	10	12	11	10	11	11	65
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R9	児童数	10	10	12	11	10	11	64
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R10	児童数	9	10	10	12	11	10	62
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R11	児童数	14	9	10	10	12	11	66
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R12	児童数	5	14	9	10	10	12	60
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R13	児童数	10	5	14	9	10	10	58
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R14	児童数	11	10	5	14	9	10	59
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6

●西方小

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
R8	児童数	9	15	5	6	10	10	55
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R9	児童数	8	9	15	5	6	10	53
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R10	児童数	5	8	9	15	5	6	48
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R11	児童数	4	5	8	9	15	5	46
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R12	児童数	6	4	5	8	9	15	47
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R13	児童数	7	6	4	5	8	9	39
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R14	児童数	7	7	6	4	5	8	37
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6

●千屋小

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
R8	児童数	R8.4　上市小と統合						
	通常学級数							
R9	児童数							
	通常学級数							
R10	児童数							
	通常学級数							
R11	児童数							
	通常学級数							
R12	児童数							
	通常学級数							
R13	児童数							
	通常学級数							
R14	児童数							
	通常学級数							

●刑部小

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
R8	児童数	15	9	11	12	11	16	74
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R9	児童数	10	15	9	11	12	11	68
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R10	児童数	7	10	15	9	11	12	64
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R11	児童数	5	7	10	15	9	11	57
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R12	児童数	11	5	7	10	15	9	57
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R13	児童数	7	11	5	7	10	15	55
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R14	児童数	6	7	11	5	7	10	46
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6

●神郷北小

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
R8	児童数	R8.4　神代小と統合						
	通常学級数							
R9	児童数							
	通常学級数							
R10	児童数							
	通常学級数							
R11	児童数							
	通常学級数							
R12	児童数							
	通常学級数							
R13	児童数							
	通常学級数							
R14	児童数							
	通常学級数							

●神代小

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
R8	児童数	5	5	3	7	3	7	30
	通常学級数	1	1	1		1		4
R9	児童数	4	5	5	3	7	3	27
	通常学級数	1	1	1		1		4
R10	児童数	3	4	5	5	3	7	27
	通常学級数	1		1		1		3
R11	児童数	5	3	4	5	5	3	25
	通常学級数	1		1		1		3
R12	児童数	5	5	3	4	5	5	27
	通常学級数	1	1	1		1		4
R13	児童数	3	5	5	3	4	5	25
	通常学級数	1		1		1		3
R14	児童数	2	3	5	5	3	4	22
	通常学級数	1		1		1		3

●本郷小

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
R8	児童数	8	8	15	16	9	15	71
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R9	児童数	10	8	8	18	20	13	77
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R10	児童数	9	10	8	8	18	20	73
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R11	児童数	9	9	10	8	8	18	62
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R12	児童数	6	9	9	10	8	8	50
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R13	児童数	10	6	9	9	10	8	52
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6
R14	児童数	3	10	6	9	9	10	47
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6

●新砥小

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
R8	児童数	0	0	3	4	4	3	14
	通常学級数			1		1		2
R9	児童数	R9.4　本郷小と統合						
	通常学級数							
R10	児童数							
	通常学級数							
R11	児童数							
	通常学級数							
R12	児童数							
	通常学級数							
R13	児童数							
	通常学級数							
R14	児童数							
	通常学級数							

●矢神小

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
R8	児童数	3	4	3	8	3	3	24
	通常学級数	1		1		1		3
R9	児童数	4	3	4	3	8	3	25
	通常学級数	1		1		1		3
R10	児童数	3	4	3	4	3	8	25
	通常学級数	1		1		1		3
R11	児童数	5	3	4	3	4	3	22
	通常学級数	1		1		1		3
R12	児童数	5	5	3	4	3	4	24
	通常学級数	1	1	1		1		4
R13	児童数	4	5	5	3	4	3	24
	通常学級数	1	1	1		1		4
R14	児童数	0	4	5	5	3	4	21
	通常学級数		1	1		1		3

●野馳小

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
R8	児童数	7	4	3	7	4	8	33
	通常学級数	1	1	1		1		4
R9	児童数	5	7	4	3	7	4	30
	通常学級数	1	1	1		1		4
R10	児童数	4	5	7	4	3	7	30
	通常学級数	1	1	1		1		4
R11	児童数	3	4	5	7	4	3	26
	通常学級数	1		1		1		3
R12	児童数	5	3	4	5	7	4	28
	通常学級数	1		1		1		3
R13	児童数	1	5	3	4	5	7	25
	通常学級数	1		1		1		3
R14	児童数	6	1	5	3	4	5	24
	通常学級数	1		1		1		3

※赤枠は全校児童数が１４人以下。

●新見市全体（児童数）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
R8	117	147	129	153	164	162	872
R9	109	117	147	129	153	164	819
R10	109	109	117	147	129	153	764
R11	99	109	109	117	147	129	710
R12	83	99	109	109	117	147	664
R13	89	83	99	109	109	117	606
R14	83	89	83	99	109	109	572

●新見第一中

		1年	2年	3年	計
R8	生徒数	93	106	99	298
	通常学級数	3	3	3	9
R9	生徒数	89	93	106	288
	通常学級数	3	3	3	9
R10	生徒数	103	89	93	285
	通常学級数	3	3	3	9
R11	生徒数	76	103	89	268
	通常学級数	3	3	3	9
R12	生徒数	68	76	103	247
	通常学級数	2	3	3	8
R13	生徒数	89	68	76	233
	通常学級数	3	2	3	8
R14	生徒数	68	89	68	225
	通常学級数	2	3	2	7
R15	生徒数	58	68	89	215
	通常学級数	2	2	3	7
R16	生徒数	65	58	68	191
	通常学級数	2	2	2	6
R17	生徒数	56	65	58	179
	通常学級数	2	2	2	6
R18	生徒数	44	56	65	165
	通常学級数	2	2	2	6
R19	生徒数	52	44	56	152
	通常学級数	2	2	2	6
R20	生徒数	52	52	44	148
	通常学級数	2	2	2	6

●新見南中

		1年	2年	3年	計
R8	生徒数	25	26	32	83
	通常学級数	1	1	1	3
R9	生徒数	28	25	26	79
	通常学級数	1	1	1	3
R10	生徒数	30	28	25	83
	通常学級数	1	1	1	3
R11	生徒数	30	30	28	88
	通常学級数	1	1	1	3
R12	生徒数	26	30	30	86
	通常学級数	1	1	1	3
R13	生徒数	33	26	30	89
	通常学級数	1	1	1	3
R14	生徒数	16	33	26	75
	通常学級数	1	1	1	3
R15	生徒数	22	16	33	71
	通常学級数	1	1	1	3
R16	生徒数	21	22	16	59
	通常学級数	1	1	1	3
R17	生徒数	21	21	22	64
	通常学級数	1	1	1	3
R18	生徒数	12	21	21	54
	通常学級数	1	1	1	3
R19	生徒数	15	12	21	48
	通常学級数	1	1	1	3
R20	生徒数	16	15	12	43
	通常学級数	1	1	1	3

●大佐中

		1年	2年	3年	計
R8	生徒数	19	13	16	48
	通常学級数	1	1	1	3
R9	生徒数	16	19	13	48
	通常学級数	1	1	1	3
R10	生徒数	11	16	19	46
	通常学級数	1	1	1	3
R11	生徒数	12	11	16	39
	通常学級数	1	1	1	3
R12	生徒数	11	12	11	34
	通常学級数	1	1	1	3
R13	生徒数	9	11	12	32
	通常学級数	1	1	1	3
R14	生徒数	15	9	11	35
	通常学級数	1	1	1	3
R15	生徒数	10	15	9	34
	通常学級数	1	1	1	3
R16	生徒数	7	10	15	32
	通常学級数	1	1	1	3
R17	生徒数	5	7	10	22
	通常学級数	1	1	1	3
R18	生徒数	11	5	7	23
	通常学級数	1	1	1	3
R19	生徒数	7	11	5	23
	通常学級数	1	1	1	3
R20	生徒数	6	7	11	24
	通常学級数	1	1	1	3

●哲多中

		1年	2年	3年	計
R8	生徒数	20	21	25	66
	通常学級数	1	1	1	3
R9	生徒数	18	20	21	59
	通常学級数	1	1	1	3
R10	生徒数	13	18	20	51
	通常学級数	1	1	1	3
R11	生徒数	20	13	18	51
	通常学級数	1	1	1	3
R12	生徒数	18	20	13	51
	通常学級数	1	1	1	3
R13	生徒数	8	18	20	46
	通常学級数	1	1	1	3
R14	生徒数	8	8	18	34
	通常学級数	1	1	1	3
R15	生徒数	10	8	8	26
	通常学級数	1	1	1	3
R16	生徒数	9	10	8	27
	通常学級数	1	1	1	3
R17	生徒数	9	9	10	28
	通常学級数	1	1	1	3
R18	生徒数	6	9	9	24
	通常学級数	1	1	1	3
R19	生徒数	10	6	9	25
	通常学級数	1	1	1	3
R20	生徒数	3	10	6	19
	通常学級数	1	1	1	3

●哲西中

		1年	2年	3年	計
R8	生徒数	13	14	12	39
	通常学級数	1	1	1	3
R9	生徒数	11	13	14	38
	通常学級数	1	1	1	3
R10	生徒数	7	11	13	31
	通常学級数	1	1	1	3
R11	生徒数	15	7	11	33
	通常学級数	1	1	1	3
R12	生徒数	6	15	7	28
	通常学級数	1	1	1	3
R13	生徒数	8	6	15	29
	通常学級数	1	1	1	3
R14	生徒数	10	8	6	24
	通常学級数	1	1	1	3
R15	生徒数	9	10	8	27
	通常学級数	1	1	1	3
R16	生徒数	7	9	10	26
	通常学級数	1	1	1	3
R17	生徒数	8	7	9	24
	通常学級数	1	1	1	3
R18	生徒数	10	8	7	25
	通常学級数	1	1	1	3
R19	生徒数	5	10	8	23
	通常学級数	1	1	1	3
R20	生徒数	6	5	10	21
	通常学級数	1	1	1	3

●新見市全体（生徒数）

	1年	2年	3年	計
R8	170	180	184	534
R9	162	170	180	512
R10	164	162	170	496
R11	153	164	162	479
R12	129	153	164	446
R13	147	129	153	429
R14	117	147	129	393
R15	109	117	147	373
R16	109	109	117	335
R17	99	109	109	317
R18	83	99	109	291
R19	89	83	99	271
R20	83	89	83	255

※学級数は、実学級数。

※特別支援学級在籍の児童生徒数により、学級数が変動する場合がある。

※赤枠は 10 人未満の学年。

＜資料２＞校舎建築年月及び築年数　　令和８年４月１日現在

【新見地域】



〇思誠小学校（主校舎）
・建築年月：Ｈ２４年３月
・築 年 数：１４年



〇高尾小学校
・建築年月：Ｈ元年３月
・築 年 数：３７年



〇新見南小学校
・建築年月：Ｓ５８年３月
・築 年 数：４３年



〇草間台小学校
・建築年月：Ｓ４９年３月
・築 年 数：５２年



〇塩城小学校
・建築年月：Ｈ３年５月
・築 年 数：３５年



〇上市小学校
・建築年月：Ｓ６０年３月
・築 年 数：３９年



〇西方小学校
・建築年月：Ｓ５７年３月
・築 年 数：４４年



〇新見第一中学校
・建築年月：Ｈ１６年３月
・築 年 数：２２年



〇新見南中学校
・建築年月：Ｈ２２年１月
・築 年 数：１６年

【大佐地域】



〇刑部小学校
・建築年月：Ｓ６２年３月
・築 年 数：３９年



〇大佐中学校
・建築年月：Ｓ５０年３月
・築 年 数：５１年

【神郷地域】



○神代小学校
・建築年月：Ｓ４９年４月
・築 年 数：５２年

【哲多地域】



○本郷小学校
・建築年月：Ｈ７年５月
・築 年 数：３１年



○新砥小学校
・建築年月：Ｓ５８年２月
・築 年 数：４３年



○哲多中学校
・建築年月：Ｓ５７年２月
・築 年 数：４４年

【哲西地域】



○矢神小学校
・建築年月：Ｓ５５年３月
・築 年 数：４６年



○野馳小学校
・建築年月：Ｈ８年３月
・築 年 数：３０年



○哲西中学校
・建築年月：Ｈ４年８月
・築 年 数：３４年